

826号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
 日港福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール rouren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国 検数 労働 組合 連合
 書記局



全国 検数労働連

2月26日(木)14:30~15:00 第三回 検数労働連26春闘交渉 下請法改正や適正取引ガイドラインを活用した料金収受の取り 組み強化で、組合要求に沿った回答構築を！

【第3回交渉】
 2月26日(木) 第3回検数労働連26春闘交渉で、組合は両協会に対し25年度の収支予測、長時間労働対策、料金収受の取り組みなど26春闘における賞金や労働条件の改善にかかわる事項の披歴を求め、交渉を行いました。

〈全口検〉

25年度の収支状況と26年度の見通しについて、現在、各支部から状況報告を受け、精査している段階であるため、詳細については説明できないが、26年1月までの状況として対前年比増であったが予算比では減となっている。価格転嫁の取り組み状況については1月時点で約1%の増となっている。

放射線測定業務については、これまでと同様に作業をしているが、今年の4月以降は不透明な状況にある。週休休暇等取得率については約93%で推移している。時間外対策については、コンテナ船、青果などが比較的多く、各支部で時短委員会などで時間外対策を行っている。

〈口検協会〉

収支状況について、25年度損益見込みならびに26年度損益計画が各支部から提出され、現在、内容について精査しているところであるため、本日の段階で説明できる状況

にないことご理解願いたい。また、取扱貨物の動向について、大まかなところでは自動車は堅調に推移しているが、農産物や損保業務などの検査関係が落ち込んでいる。いずれにしても今後は細部に亘る点検を進めるので、説明できる段階まで暫く時間をいただきたい。

料金収受の取り組みについて、これまでの取り組みが成果に結びついているが、披歴できる段階まで暫く時間をいただきたい。

放射線測定業務について、現時点では通常通り検査が実施されている。

時間外労働の実態や週休日・休暇の取得状況について、現在、集計作業を進めているため、しばらく時間をいただきたい。

〈組合主張〉

下請法の改正で、事業者間での取引環境の適正化が図られ、港湾においても適正取引推進のためのガイドラインが策定されている。

両協会もこの流れに沿った対策を図ることを求める。また、港湾産別でも荷主・ユーザーへの適正料金収受を今春闘で強化していく方針であることから、料金収受への取り組みの更なる強化を求める。

諸要求についても両協会がどのように回答するか現場は注視している。諸要求についてもしっかりと回答を求め

検数労働連 26春闘学習会開催！

2月16日〜17日にかけて、検数労働連26春闘学習会を開催しました。今回は神戸港に寄港する外国軍艦船に対して、核兵器を搭載していないことを証明する『非核証明書』を義務付ける神戸独自のモデルである『非核神戸方式』が誕生して51周年を迎えるなか、先日行われた解散総選挙で圧勝した高市自民党の右傾化政策に対し、どのように憲法9条や非核三原則、非核神戸方式を堅持していくかといった内容を、兵庫県原水協事務局長の梶本氏から講義を受けてきました。また、もう一つのテーマとして2月12日の中央港湾団交を皮切りに始まった26港湾春闘をどのようににたかていくかというテーマで全国港湾玉田書記長から講義を受けました。

2日目は神戸港にある港湾技能センターの見学に向かいました。

港湾技能センターでは、現場でよく見る荷役機械について説明や、ガントリックレーンのシミュレーターでガンマン体験をするなど、検数業ではかかわる事のない体験を通して、『同じ現場で働くステベの仕事への理解が深まった』などといった感想や、『より安全への意識が高まった』との感想が参加者から出され、色々と学びがあった2日間でした。



次回交渉:3月9日(月)時間調整中…。 第4回 検数労働連26春闘交渉 両協会に対し『有額回答に向けた考え方の披歴』を求めています。